

# 平成 29 (2017) 年さけます来遊状況 (第 3 報 : 10/31 現在)

## 4 サケ年齢組成と体サイズ

国立研究開発法人水産研究・教育機構  
北海道区水産研究所 さけます生産技術部

- 北海道の 10 月末時点での年齢別来遊数を推定すると、4 年魚 (2013 年級)、5 年魚 (2012 年級) とともに 1994 年以降一番少ない
- 北海道のサケの平均重量は 3.45kg で、前年同期と同水準

### ・サケの年齢組成

北海道の河川に回帰したサケの年齢査定の途中経過をもとに、10 月末時点における年齢別来遊数を推定したところ、4 年魚 (2013 年級) が全体の 44% と最も多く、次に 5 年魚 (2012 年級) が 39% を占め、3 年魚が 11% と続いています。4 年魚は前年同期の 79%、5 年魚は前年同期の 44% となっています。1994 年以降の平均との比較では、それぞれ 33% と 35% となっており、4、5 年魚とも 1994 年以降で一番少ない状況です。また 3 年魚は前年同期比 443%、1994 年以降の平均の 127% となっています (図 1)。

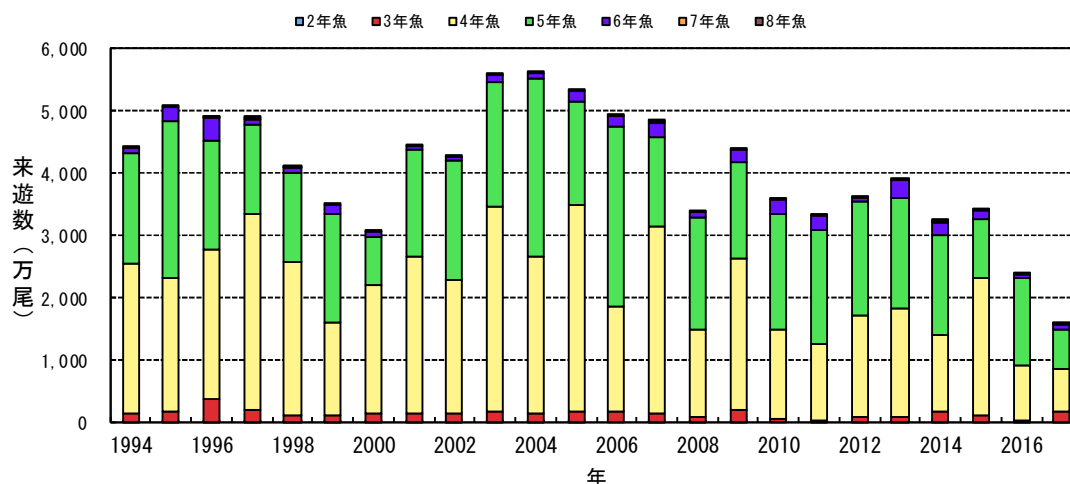


図 1. 10 月末時点のサケ年齢別来遊数 (北海道).

年級群 (生まれ年) ごとの来遊数をみると、今年の 4 年魚である 2013 年級は、4 年魚までの来遊数 (2~4 年魚の来遊数) で比べた場合、1992 年級以降では一番少なくなっています。また 5 年魚である 2012 年級についても、5 年魚までの来遊数 (2~5 年魚の来遊数) で比べた場合、1992 年級以降で一番少なくなっています。(図 2)。

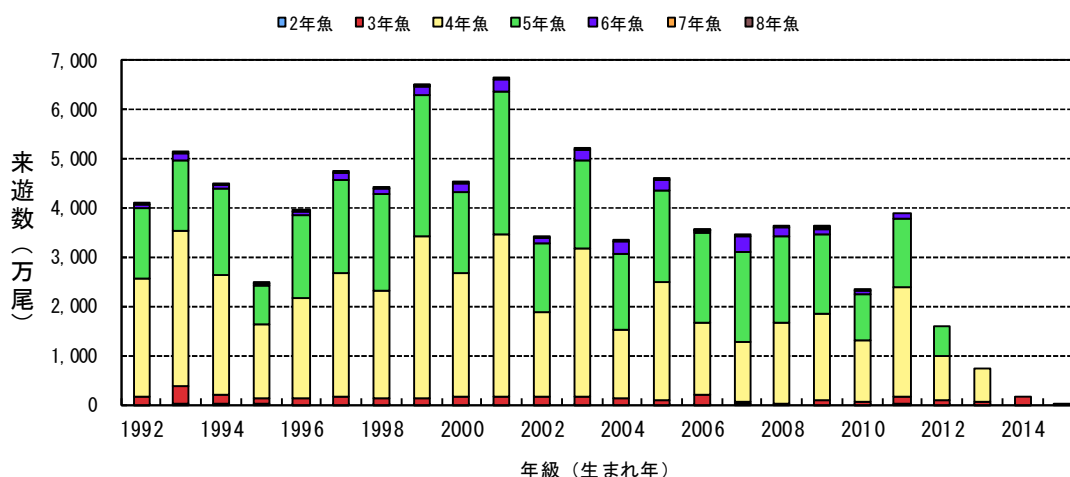


図 2. 10 月末時点のサケ年級群 (生まれ年) 別来遊数 (北海道).

地域別にみると、太平洋側（根室～えりも以西海区）では、4年魚が前年同期の53%、1994年以降の平均の16%、5年魚は前年同期の30%、1994年以降の平均の20%と、4、5年魚ともに1994年以降では一番少なくなっています。また、3年魚は前年同期の670%、1994年以降の平均の100%となっています（図3）。

日本海側（オホーツク海区及び日本海区）では、4年魚は前年同期の96%、1994年以降の平均の53%、5年魚は前年同期の53%、1994年以降の平均の51%と、4年魚は1994年以降で一番少なく、5年魚は二番目に少なくなっています。また、3年魚は前年同期の361%、1994年以降の平均の157%となっています（図4）。

両地域とも主群の4、5年魚の来遊が不振ですが、両地域を比較すると、太平洋側の方がより4、5年魚の落ち込みが大きくなっています。

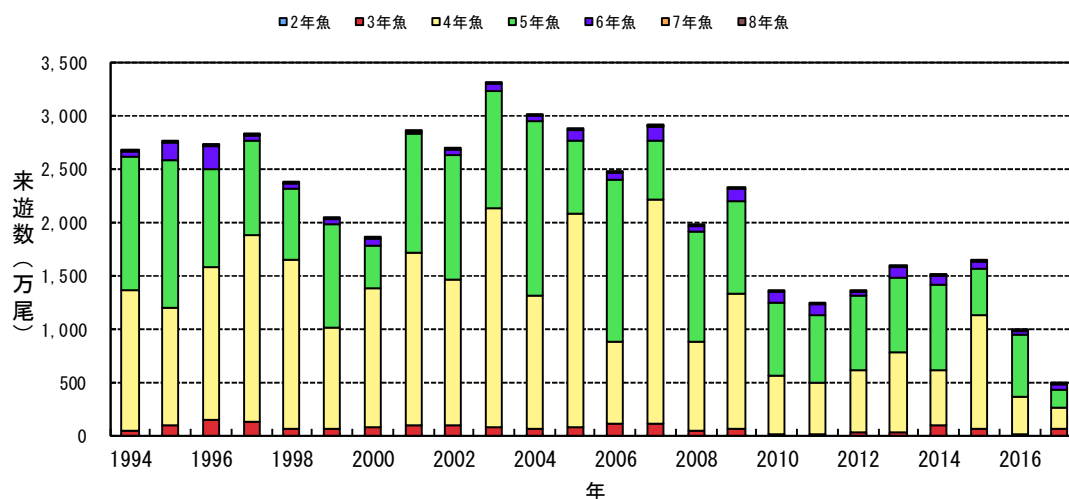


図3. 10月末時点のサケ年齢別来遊数（北海道太平洋）.

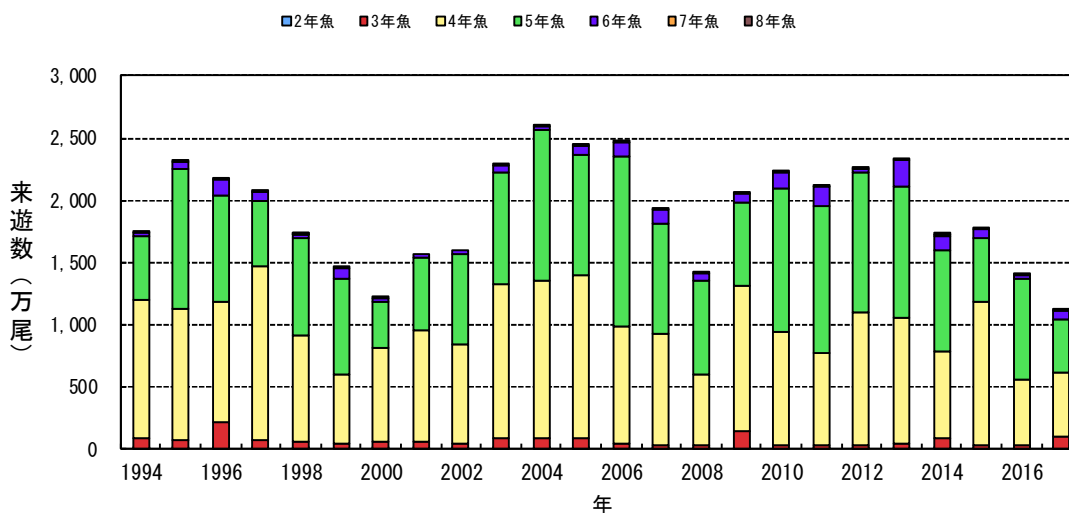


図4. 10月末時点のサケ年齢別来遊数（北海道日本海）.

・サケの体サイズ

北海道における10月末時点のサケ1尾当たりの平均重量（サケ漁獲数と漁獲重量から算出）は3.45kgであり、これは前年同期の102%に相当します（図5）。

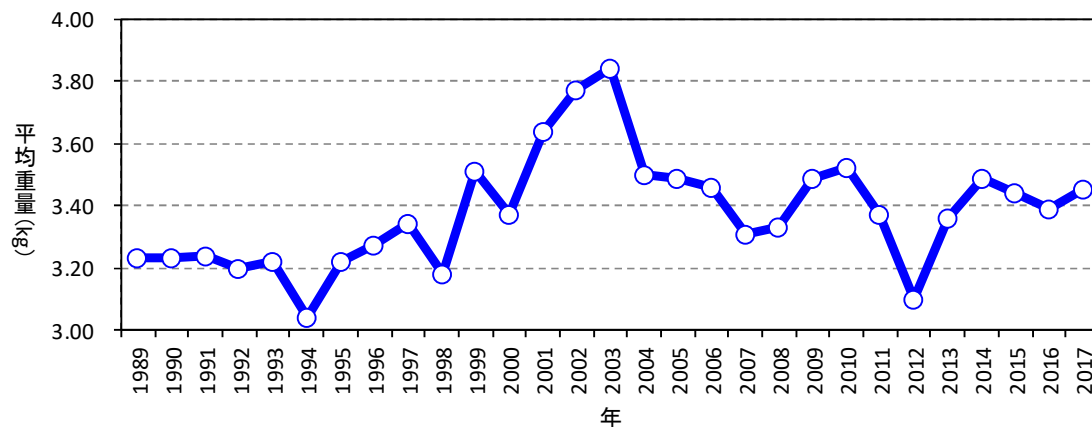


図5. 10月末時点のサケ平均重量（北海道）.